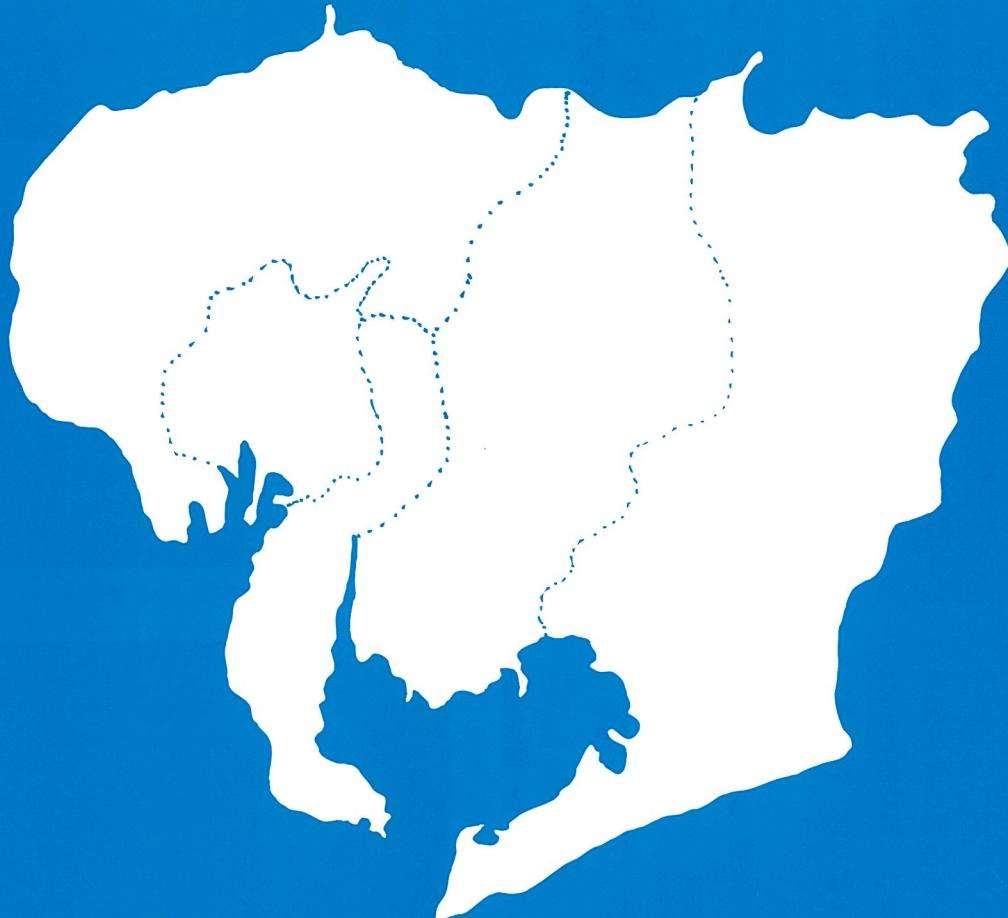


観の眼



愛知県剣道連盟60周年記念 特集号

目 次

巻頭言	1	道場連盟だより	29
特集 愛剣連60周年記念行事	2	洗心道場念願の全国優勝	30
第1回愛剣連高齢者剣道大会	11	高体連の事業より	31
優秀試合賞受賞者のコメント	13	中体連の事業より	31
第11回全日本選抜八段優勝大会	15	おめでとう	32
松永政美先生講話会	17	平成25・26年度役員	34
松永先生の講話を拝聴して	21	剣道・居合道・杖道 審査料・登録料	36
女子剣道七段4名誕生	23	愛剣連ホームページ案内	36
地区だより	26	五地区連盟所在地	37
居合道・杖道	28	訃報	37

第37号



一般
財団
法人

愛知県剣道連盟

愛知県剣道連盟会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は当連盟の活動にご尽力賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度、山本重夫会長のご勇退に伴い、平成二十五年度の新理事会にて推举され会長職に就任致しました、富田孝夫でございます。

浅学非才の私では会長職としての力不足は否めません。しかしながら皆様のお力を賜りながらその職責を全うすべく全力を尽くす覚悟でございます。何卒会員の皆様の一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう重ね重ねお願い申し上げます。

ご承知の通り、愛知県剣道連盟（以下：愛剣連）は、平成二十四年四月に一般財団法人へと組織変更致しました。関係者の方々のご尽力により、諸課題の移行手続きも順調に推移しております。

また、本年一月十九日に愛剣連設立六十周年の記念行事が執り行われましたことをここにご報告申し上げます。

昭和二十七年の結成以来、多数の先生方、会員の方々の献身的なご尽力により、愛剣連は発展の道を歩んでまいりました。先達から継承された伝統と文化に恥じぬよう、私たちには「剣



開式宣言を行う安部理事長



主催者式辞 山本会長



亡き諸先生、指導者ご冥福を祈る
参列者の皆様



感謝状を読み上げる山本会長
受賞者は大谷高校の黒川泰彦先生

特集

愛知県剣道連盟60周年記念行事

式辞 山本重夫会長

平成二十五年一月十九日(土)愛知県

武道館において、標記記念式典が盛大に挙行されました。当日はまだ正月気分の漂う中好天にも恵まれ、良き一日を楽しみました。この記念行事は、四つのセクションに分けて執り行われました。まず、一つ目の記念式典の模様です。

開会の辞を安部秀利理事長が行い、主催者の式辞を山本重夫会長が述べられました。

主催者式辞 山本会長

<p

三道各種形による記念演武

二つ目は、記念演武です。道場中にて、初めに日本剣道形が、打太教士七段 東 朱美先生、仕太教士七段 中村登志子先生(両先とも尾張地区)により、静謐の中事な演武を披露されました。居合、教士七段 木ノ本みゆき先生が、じました。杖道は、打太刀 教士段 三澤芳郎先生と仕杖 前田新先生により、息のあつた演武がされました。それぞれの演武の一
は写真のとおりです。



表彰状を受けられる和田伊功前副会長



特別功労賞の勝股寿彦先生



東朱美教士（右）、中村登志子教士による、
日本剣道形の演武



三澤芳郎教士（右）、前田新吾教士による杖道の形



木ノ本みゆき教士による居合

記念試合の模様

三つ目のセクションは、記念試合です。愛知五地区の連盟対抗の団体戦です。選手は小学生低学年三名、高学年三名、中学生女子一名、男子二名の三名計九名。小学生二分、中学生一分三十秒とし、勝敗がつかない場合は引き分け。代表者による決戦を行うもの。表彰は一位、二位のみとし、各参加者には参加賞が贈られました。



地区対抗戦は尾張が制す

盟	連	道	劍	河	三	東
一峰	梨文祐	孝篤	花貴	武栄	一佑	
監	先	次	七	六	中	四
督	鋒	鋒	將	將	堅	將
轅	鋒	鋒	將	將	將	將
白	瀧	今	小	前	上	長
井	貞	泉	野	田	村	田
田	貞	泉	野	田	村	田
谷々						
佐						

試合結果

西三河剣道連盟				尾南地区剣道連盟				名古屋市剣道連盟				尾張剣道連盟			
監督	堀山	永田	牧	賢也	渡邊	高橋	木口	野下	村井	謙	香伸	太田	大太	大大	真奈貴
首次	根藤	井堂	高巒	樹登	中高	橋木	木口	野下	村井	駿	太田	大太	大大	真奈	貴
七	好岡	永島	安田	太隆	鈴谷	木口	木口	木口	木口	貴	太田	大太	大大	真奈	貴
六	岡崎	川根	高永	尋慎	澤山	木口	木口	木口	木口	友	太田	大太	大大	真奈	貴
中	本浦	根堂	安山	輝	本森	木口	木口	木口	木口	和	太田	大太	大大	真奈	貴
四	田屋	中藤	栗	大	澤澤	木口	木口	木口	木口	隼	太田	大太	大大	真奈	貴
三	山塩	高堂	新	將	山本	木口	木口	木口	木口	隼	太田	大太	大大	真奈	貴
副	杉山	中藤	士新	將	森澤	木口	木口	木口	木口	隼	太田	大太	大大	真奈	貴
大	山塩	高堂	千可	將裕	澤山	木口	木口	木口	木口	隼	太田	大太	大大	真奈	貴

各地区選手名簿

将は中学生男子、合計九名であり、試合形式は五地区総当たりの団体戦でした。尾張チームは、初戦辛勝、二戦目

敗退となり、優勝は難しいと思われましたが、各チームともさすがに選抜された選手たちであり、どのチームも連続して勝ち続けることが出来ませんでした。そんな中、幸いにも三戦目・四戦目と連勝することができ、「優勝」の表彰を受けることができました。

話を合ひては、各地の理事会長が監督を務める事と定められていましたが、記念式典への出席と、選手の集合時間あるいは準備運動の時間などを考え合わせた時に、一人では式典と選手あるいは父母との対応が十分出来ないと判断し、尾張の理事会で助監督を選考し、選手の受け入れ、準備運動の実施、チームワークの醸成、父母との対応を助監督にお願いする

こととしました。

が、三戦目までの間に助監督を中心
にチームのみんなが集まつて励まし
合い、以後の試合中には声を掛け合
い、一人一人が一生懸命試合に集中
することができたように思います。
優勝は、選手全員のチームワーク



審半長 大嶽將文先生の語

と、助監督笛田和宏氏の適切な指導の賜物と感謝します。

審判長 大嶽將文先生の講評

これから注意して欲しい点として
礼法をしつかりやつて欲しいことと
竹刀は刀であるという意識で取り扱
うこと。こういう意識で生涯剣道を
目指して欲しい。みなさんはいまが
一番大切な時期なのでよろしくお願
いします。」と激励コメントとなりま
した。

感謝状 (各地区連盟の発展と競技力向上に多年にわたり、ご尽力された方)

尾張剣道連盟	三尾恒介	萬谷 優	武居義信	野間光恵	一柳金廣
名古屋市剣道連盟	大西正幸	織部哲郎	鹿嶋清治	河野鎌三	佐藤健蔵
	清水雄吾	諏訪園春巳	玉置 摄	深尾重久	前島 昭
	秋山武敏				
尾南地区剣道連盟	山原満博	榎原正雄	佐野忠雄	早川茂典	石川 進
	村田和夫	竹内祥二			
西三河剣道連盟	山本勝男	羽佐田清	神谷 修	原 隆成	武田信三郎
	加藤英男				
東三河剣道連盟	河辺昭一	富田英男	覧 久一		

愛知県武道館におけるスナップ写真集 (順不同・敬称略)

物故者 名簿 (平成15年以後連盟役員経験者)

中村 薫	水野 登	加藤文雄	深田正夫
仲山 納	福田俊雄	榎原 正	内藤正之助
近藤利雄	神成一男	鈴木守治	山田満寛
高原源一	田中 弘	加藤信雄	伊藤宗太郎
小川正亮	鷹野忠雄	谷鎌吉郎	稻垣徳三
太田吉郎			



全員で黙祷し、先人のご冥福を祈ります

功労賞 (全国大会優勝者及び世界大会出場者)

第51回全日本剣道選手権大会	近本 巧	第56回全国青年大会女子団体の部	
第53回全国青年大会男子個人の部	高橋博美	監督 尾形 晃	
第56回全国青年大会女子個人の部	加藤麻衣子	選手 加藤麻衣子 不破友恵	
第59回全国青年大会女子個人の部	古澤麻衣	水井笑実 中野智咲	平井里枝
第60回全国青年大会女子個人の部	長谷川由美子		
第32回全日本高齢者武道大会 A組	上北朝也	第57回全国青年大会男子団体の部	
第9回全日本選抜剣道八段優勝大会	東 良美	監督 北原 健	
第12回世界剣道選手権大会	安藤戒牛	選手 曽根武仁 山部祐輝	長谷川誠二
第15回居合道全国選抜八段箱根大会	水野 隆	大串秀一郎 内藤友和	高木和哉
第10回全日本実業団女子剣道大会		第58回全国青年大会女子団体の部	
監督 市原廣秋		監督 北口正樹	
選手 今道恵子 加藤麻衣子 佐合秀美		選手 不破友恵 古澤麻衣	
		長谷川由美子 伊藤摩由	



見事な日本剣道形を打たれた女性教士7段
打太刀 東 朱美先生（右）と仕太刀 中村登志子先生



感謝状を授与される中京綜合警備保障(株)松本健一郎氏



感謝状を授与される伊藤大栄堂伊藤社長



表彰状を授与される三屋恒介先生



感謝状を授与される菅沼幸夫先生



表彰状を授与される水野隆先生

感謝状

(部外で特に本連盟の発展に大きく協力された団体)
名古屋大谷高等学校
中京綜合警備保障株式会社
伊藤大栄堂

特別功労賞
(本連盟の運営にとくに著しい功績のあった方)
勝股寿彦

表彰状
(多年にわたり本連盟の運営に対し、ご尽力された方)
和田伊功（前副会長）
菅沼幸夫（前副会長）
松本 武（前副会長）



尾南地区チーム



西三河チーム



東三河チーム



優勝した尾張チーム



2位の名古屋市チーム



審判長は大嶽範士、審判員は全て教士八段の先生方



熱戦を繰り広げる地区対抗戦



熱い眼差しの役員の先生方



尾南地区チーム



東三河チーム



試合を見守る役員・審判の先生方



名古屋市チーム



尾張チーム

地区対抗の審判員

審判長 大嶽将文	
第一試合場	第二試合場
(主任) 祝 要司	(主任) 東 良美
東 一良	尾野博之
松下明房	東日出男
山崎 尚	平井道典
大河内鉄彦	穂園元孝
北村真一	倉成健治



西三河チーム



今回も、設営に尽力された
名古屋大谷高校剣道部の皆さん

黒川先生のお話です。
「約十五年前位からでしょうか、うちの生徒たちが愛知県剣道連盟主催の各種行事、特に大会等の設営、試合運営のお手伝いをさせていただいている事が今回の受賞となりました。伝統的に生徒たちも積極的に協力しております、私としても感謝している所です。彼らもこのような作業を通じて剣道の稽古ばかりでない世界を体験することにより、幅広い生き方を学んでくれているものと思います。」

（文責白石裕章）

この十年の歴史の中、転機は本連盟が一般財団法人として再スタートをしたことあります。これも軌道に乗り、各専門委員会とも、各委員の努力の結集によって、より充実した取組が続けられております。この流れの中での本記念事業は大変意義深いものとなりました。

平成二十四年度より、中学校では武道が必修となり、中学生たちが、体育授業において、武道の持つ精神を学ぶ重要性が増し、剣道の持つ役割也非常に大きくなりました。しかしながら、昨今、体罰やいじめ等、スポーツ界を揺るがす事件が続いており、武道に対する必ずしもイメージが良いものになっていない様に思います。古来より日本の文化を支えている武道精神をより良く受け継ぎ、日本人としての正しい姿を示していくことが大変重要であると思います。剣道人として真摯な態度で、日々研鑽と修行を重ねるとともに、五地区連盟を柱として、剣道の実践を通して、より良い社会づくりに貢献することにより、本連盟のますますの発展が期待されます。

感謝状を授与された大谷高校

記念事業を終えて

人愛知県剣道連盟 設立60周年



開会の挨拶をされる小栗副会長



左から、青山先生、富田副会長、小栗副会長、山本会長



小栗副会長の挨拶を聞きいる会員の皆さん

記念パーティー

キャッスルプラザにて、総勢100名超が参集、記念祝賀大パーティーが挙行された。

時間の経過とともに、親睦の輪は増すばかりでした。

第一回愛剣連 高齢者剣道大会開かる

次回のやり方は「もっと楽しさ」を演出できる方法を考えればよいかと思ひます。

平成二十四年九月十七日（敬老の日）午後一時より刈谷市体育館において、剣連初の標記大会が開催されました。

参加資格は本連盟の会員であることと、段位は無制限にしたこと。また年齢では、女子は五十歳以上とし、男子は六十歳以上としたことです。今回の試合方法は勝敗を知らない拝見試合としました。年齢を区分けしており、女子は五十歳以上、五十五歳以上、六十歳以上の三部門。男子は六十歳以上、六十五歳以上、七十歳以上、七十五歳以上の四部門としています。試合場は、男子七十五歳以上から一會場。それまでは（女子と男子六十九歳まで）二會場としました。出場者は男子四十三組八十一名、女子十五組三十名総勢五十八組一一六名の多く方の参加をみました。これに役員の先生方十五名が加わります。予定者全員出席は立派！この日はあいにくの台風の襲来で、外は大雨でしたが、会場では皆さま年齢を微塵も感じさせない熱い戦いが繰り広げられました。

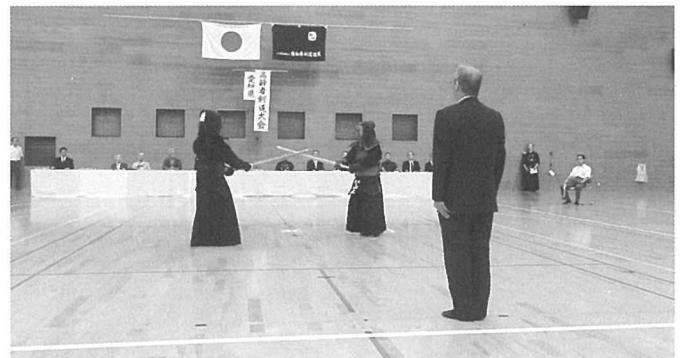
初めての試みでしたが、スムーズに運営され、随所に名場面が見られました。

巷の声を紹介しますと、大会の名称がそのものズバリはいただけないとか、拝見試合はつまらぬ、勝負形式がいいんじゃないの？とか、居合の皆さんもいれはどうですか？などの感想が聞こえました。

まだ他に意見がありそうですので、



本部席で観戦される先生方



山本会長（右）と早川五十一先生の対戦。立合いは大嶽範士



熱戦を繰り広げる女子（手前）
向う側は男子の先生方



出番を待つ、先生方



いつまでもこの大会に出たい

名古屋 森川 好夫

九月十七日の敬老の日に開催された第一回愛剣連高齢者剣道大会の要領を手に入れ、我が剣友の木綿さんと二人で参加致しました。

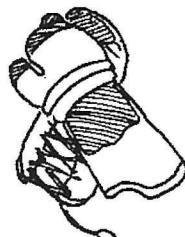
台風十六号の影響で猫の目のように変わる天候の中「今日は剣道しかやる事のない、剣道大好き人間ばかりが参加しているよね」と車の中で言いたい放題言いながら刈谷市体育館に到着致しました。

案の定、多くの剣道爱好者の方々が参加されており、会場のあちこちで「元気？暫らくぶり！」等々の言葉が飛び交っていました。又、手書きの大会看板が掲示されている事もあってとても試合場とは思えないアットホームな雰囲気の漂う会場でした。

木綿（もめん）さんは何と第一回大会の第一試合に出場するという栄

誉に恵まれ、木綿（きわた）さんと呼び出されてリラックスできたようで、対戦者の西三河の筒井先生との初太刀の合気の面は素晴らしい、一挙に会場の雰囲気を盛り上げました。男子の試合組み合わせは六十から六十四歳の部、六十五から六十九歳の部、七十から七十四歳の部、七十五歳以上の部の四部門に分かれての試合で、高齢者の試合とは思えない精氣あふれる熱戦が展開されました。私は、六十から六十四歳の十二組目で山口照義先生と立ち合いました。拝見試合は初めてで、立合いましたが判定が無く少し戸惑いましたが自分の力を出し切る思いで頑張るものアッという間に終わってしまいました。後で親しい先生から「前半は良かったが後半がなー」とのコメントを頂きました。剣道は相手がいるのではなかなか思い通りにはいかず、高校剣道部時代の友人と箸の二本は自由自在なのに竹刀の一本はままならないネと真剣に話し合った事が懐かしく思い出され、又、ひとつ良い経験をさせて頂きました。

試合場の脇に椅子席が用意されていましたが、各先生方の息遣いを感じながら、玄妙な技の数々を堪能することができました。又、役員の先生



私にとって、連続出場を目標に健康管理に注意し、今日の先生方と同じように元気溢れる剣道がいつまでも出来るよう稽古に励んでいくたいと改めて思はれた一日でした。

愛剣連高齢者剣道大会が県内の剣道爱好者の方々の『交剣知愛』の場となる事を祈念しております。



男子優秀試合賞の表彰 山本重夫会長が代表して受賞されました。



女子優秀試合賞の表彰

優秀試合賞の受賞者コメント

(今回は女子の皆さんより)

西三河 笹井美幸

頂きました。大勢の先生方の姿勢も見られて、おまけにご褒美までいただき本当に嬉しいです。来て良かった。

第一回の大会で、この様な賞をいただきありがとうございます。出場する事、ずい分迷いましたが、友達に誘われて出て、本当に良かったと 思います。

てから面をつける。キュッと結ぶ紐がいつもより強くて込む感じ。心の中で構えだけは声だけは大きく、今日は合気、相手をよく見て合気で打ちたい。でもなかなか思う様に動けず自分の気持ちの良い間合いも取

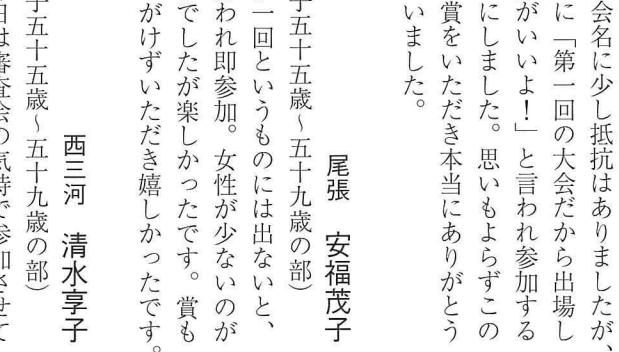


西三河 篠井美幸

西三河 永田 操
(女子六十歳以上の部)



本当に良かつたと
打ちたい。でもなかなか思う様に動
けず自分の気持ちの良い間合いも取



尾張
安福茂子

大会名に少し抵抗はありましたが、友人に「第一回の大会だから出場した方がいいよ！」と言われ参加することにしました。思いもよらずこの様な賞をいただき本当にありがとうございました。



(女子六十歳以上の部)

思いもよらず優秀賞を頂きありがとうございました。たい気持ちで一杯です。立合いの前は審査の時の気持でやろうと心に決めて出場したのに、いざとなると「我」が出て後悔反省ばかりです。これを励みに今後の剣道に生かしたいと思います。有難うございました。

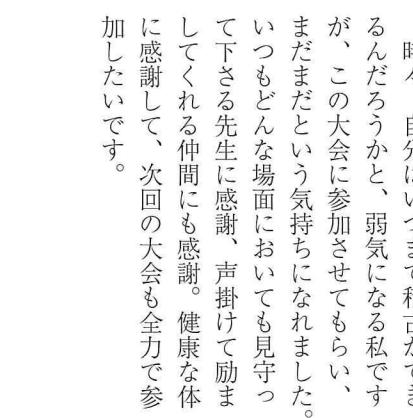


西三河
清水享子

大会名を聞いて「えつ」と思いま
したが、五十五歳の私はしつかり高
齢者の仲間入りをしていました。と
ころが会場に入ると気持ちがピント
張って、自分の着ていた道着の色落
ちまでもが気になるほどでした。

試合形式は拝見試合で、この二分
間は審査の気持。しっかりと、しつか
りと自分に言い聞かせながら奮い立
たせるほどに体に感じる、チカラ。

相手の先生に「お頑、ます」と言つ



自分にいつまで利口がでるんだろうかと、弱気になる私は、この大会に参加させてもらい、まだまだという気持ちになりました。いつもどんな場面においても見守つて下さる先生に感謝、声掛けて励ましてくれる仲間にも感謝。健康な体に感謝して、次回の大会も全力で参



אַמְתָּהָגָן

第一回」という行事には参加するといいんだよ。親睦会もあるしね。」との誘いに、さっそく参加することにしました。当日は思ったより女子の参加が少なく残念でしたが、悪天候にもかかわらず、大勢の剣道仲間が集まり、この大会が始まりました。



閉会式の模様です。写真の様に、開会式同様に全員参加となりました。



閉会式の後の合同稽古会。なおも燃える高齢？剣士群の皆さん、この後の懇親会は大変盛り上りました。
(後編 年末年始)

方の年令を感じさせないハツラツとした剣道もたくさん見ることができました。親睦会では男性の方々が楽しそうに歓談されていたのがとても印象的でした。そして、思いがけず頂いた優秀選手賞は、父への敬老の日の最

平成25年4月21日 名古屋市中村スポーツセンターにおいて、第11回の標記大会が盛大に挙行された。この大会は、先の明治村大会として26年間、無聲堂で行われた八段戦を引き継いだもので、実に37年間のながきに亘り、多くの名勝負を生んだ大会である。愛知県として誇りうる大会と言える。

今大会では、本県から畠山隆吉教士、東一良教士、東良美教士の3選手が出場。各選手とも善戦し場内を沸かせた。

番号 氏名
(称号・登録連盟)

1	佐藤桂生(教士・兵庫)	大澤	ツメ
2	大澤規男(教士・埼玉)	▲メ1本勝	大澤 メ
3	金木悟(範士・静岡)	コ1本勝	金木
4	長谷川弘一(教士・福島)		
5	高橋俊昭(範士・京都)	石田 メド	石田 延
6	石田利也(教士・東京)	メコ	石田 メコ
7	畠山隆吉(教士・愛知)	▲延	亀井
8	亀井徹(範士・熊本)	下	
9	蒔田実(教士・千葉)	延	下島
10	下島貴代一(教士・岐阜)	メ	稻富 コ1本勝
11	重松隆(教士・滋賀)		稻富 メ
12	稻富政博(教士・佐賀)	コ1本勝	
13	豊村東盛(範士・東京)	山根	
14	山根大二朗(教士・岡山)	メ1本勝	神崎
15	神崎浩(教士・大阪)	コ延	神崎 メ1本勝
16	香田郡秀(教士・茨城)		



開会式の模様



見応えのある熱戦 本県選手の活躍

第11回 全日本選抜剣道

平成25年4月21日(日)

優勝: 石田利也(東京)
第2位: 谷勝彦(群馬)
第3位: 稲富政博(佐賀)
第3位: 松田勇人(奈良)

優勝
石田利也

八段優勝大会 試合結果

於: 名古屋市中村スポーツセンター

番号	氏名 (称号・登録連盟)	番号
17	西川清紀(教士・東京)	コ1本勝▲
18	石塚美文(範士・大阪)	西川
19	山中洋介(教士・鳥取)	山中メ延
20	古川和男(教士・北海道)	山中メ1本勝
21	谷勝彦(教士・群馬)	谷メメ
22	二子石貴資(範士・兵庫)	谷メ
23	東一良(教士・愛知)	石橋延
24	石橋正久(教士・福岡)	東メ
25	相模利朗(教士・福井)	相模利朗
26	東良美(教士・愛知)	東メメ
27	松田勇人(教士・奈良)	松田コ1本勝
28	氏家道男(教士・東京)	松田メコ
29	大城戸功(教士・愛媛)	船津メド
30	船津晋治(教士・大阪)	船津延
31	笠村浩二(教士・神奈川)	笠村コメ
32	高木弘伸(教士・島根)	高木弘伸



決勝戦の模様 昨年優勝の谷選手(左)と初出場の石田選手の対戦



閉会式 石田利也選手に内閣総理大臣杯が授与される

“剣道の理念”誕生の背景を理解し、

お母さん金道に期待する」と

日本美術通鑑會長 桜井政美先生



平成二十四年十月三日(水)日本がイシホール剣道場において、愛知県女子剣道講習会ならびに全日本剣道連盟副会長松永政美先生の講話会が行われました。

先生の物の見方、考え方、観察力・後ということもあり、また、世界大會の結果をお聞きするチャンスに恵まれました。

一時間半に亘る御講話は、松永

洞察力、説得力ある話術・随所にユーモアが飛び交うなど楽しきいっぱいの内容となつておりますが、紙

(2) 岐阜国体のコメント

(3) 戦後の剣道復活時代のお詫し
(剣道の三徳・理念の誕生)

います。これは何もヒイキして旗を上げるわけではありません。地元の選手はお金も時間も掛けているでしょう。一年も三年も前から、強化練習をしている訳でしょ。東京も大阪のチームも強いけれども、今回も岐阜の名もない人が、選手権の優勝者を打つんですよ。考えて打つのですよ。なくて自然と技が出る。これは一生懸命に稽古しているからです。
②なぜ岐阜が勝ったのか！長い間あればだけの練習をしたからです。相手の動きが分かるでしょ。岐阜の選手

勝負がつかない。鎧競り合いの時メソンを打ちました。なぜ打ったのか分からぬ。引きメンがうまい人に、大阪の石田選手がいます。私がある

先ほど 残心が大切であるという話をしました。この残心は形で表すのではなく、心の表現です。日本人の持つ特性、伝統の中で、日本人が持つロゴスというか精神というものと、剣道や柔道の中から忘れない様を、にしなければなりません。このような日本の豊かな国民性を世界に分かつてもらうのは難しいことです。しかし、日本人の心の表現を理解してもらわなければならぬといふことです。

初代木村篤太郎会長が剣道の三徳を説き、復活

剣道の三徳、智仁勇とは？

さて、知の最終的な目的は真です。眞美です。一般的にヨーロッパの哲学は眞善美ですが、日本では智仁勇

「仁」は人が二人いるからこう愛情がある。倫理観の超最後は、善です。倫理の最後は善の心、良く言うで

ります。

知らない内に魚道をやることは、
よつてそういう人間の真実の美を
やっているんです。みなさん気がつ
かないだけです。それで「智」とな

真の剣道は如何にあるか？相手の口から矢のように飛んでくる速さを自分が受け止めて、そして相手の知を受け止める。だから本当は鏡なんですよ。相手の心に映し、知り、そして技術を覚える。だから外国人のような人についても分からないのです。

よく考えればわかるでしょ。剣道や
ると何が良くなるかというと、四惑
と言うでしょ。四戒（恐懼疑惑）と
もいうでしょ。あなた方も試合をや
る時にこう打つていいたら怖いんだ
よな。相手はとても強いんだよな、
と一生懸命考えるでしょ。相手が
打つて来たら返してやろうかな、そ
こに惑い。みなさん方は剣道をやる
事によって自然に勉強しているんで
す。こういうことを皆さんは知らな
いうちにやっているのです。気が付
くまではけのうで。

です。智というのは哲学ですから。

⑤次回十六回の大会は、日本で開催することになりました。韓国はパワーもあるスピードもあります。意外の国はブラジル、アメリカ、

術である、打ち・突き・かわすに、摺り上げ、崩しという判断能力を付けてもらわなければならないということです。

それから日本の剣道は残心を大切にしているのですね。その事は外国人の皆さんに充分に理解をしてもらいたいと思います。当たつたら上げる。これでは困るということです。有効打突の時に上げないで、後打ちされ旗が上がる場合も出てきます。ですから審判能力が非常に大切です。

④このことから、有効打突の条件をしつかり外国人に分かつて頂かなければなりません。ここのことろが非常に重要になります。剣道の技

めに笑われるのではないのかと當時は外国の審判員が少なかったことと、彼らが審判員を遠慮したからです。しかし、今は対戦チーム以外の国が審判員となります。つまり外国の審判技術を上げないとなりません。玄妙な技の判断ができるような審判員を養成しなければなりません。そのため、今回も各ゾーンで審判講習会を行いました。

ですから、一発外したから大丈夫、ということが少なくなり、大変強くなりました。しかし団体戦は難しいものです。それは時間制限を設けていることで、外国の人は、あの人とやる時は時間内で決めないで、引き分けに持ち込もう、そして、最後の一発で決めようとするわけですね。

めに笑われるのではないのかと、當時は外国の審判員が少なかったことと、彼らが審判員を遠慮したからです。しかし、今は対戦チーム以外の国が審判員となります。つまり外国の審判技術を上げないとなりません。玄妙な技の判断ができるような審判員を養成しなければなりません。その

— 17 —

しょ。皆さん方が子ども達や生徒に教える時に惻隱の情つて分かりますか？打たれたら痛いでしょう、ああ痛かった。私もああいうように痛くないよう打つて差し上げたいな。こうして相手と自分の間に非常強い絆が生まれます。自分の心に繋がるんです。剣道は相手を抹殺するのではなく、相手を生かすんですよ。防具でない所を打てば、痛いですよ。そしてこの「仁」というのがあるのです。最後は勇です。これは水が湧きでる様に、自分の心を、勇気づけること。相手は強いんだよな、ドウがうまいんだよな。しかしエイッとメンを一心不乱に打込むでしょ。心を振り絞って打つていくと、ドウと打たれる前に、面が当たるでしょう。あなた方が竹刀を握っている時にそれが出てる。残心というものを、あなたの方は剣道をやっている中でもう知らずしらず覚えてるんです。

木村先生はこれを一つの軸として、心の中で勉強しなさいということを、あの昭和二十七年の剣道解禁になつた時にやつたんです。

なぜこんなことを言うかと言うと、

（爆笑）となります。

当時私は済寧館（皇居の中にある武道場で、道場の正面には玉座があります。松永先生は剣道師範でした）にいましたから、そこで木村先生が有識者を集めて、「思齊会」という会を結成して稽古をやつしていました。剣道の好きな人達、弁護士、検事が来る、検事総長の井本さんなんかしょっちゅう来ていましたね。その他会社社長、学校の先生方が寄り集まっていました。稽古を終わりますと、木村会長が得意のポーズで、「君、諸君！」とね。哲学的な話されていました。この先生が創ったのが「智仁勇」です。これをやつていれば日本剣道はすたれないということことだつたんです。ところが学校の方ではマッカーサー指令部から勝負を中心楽しんでやんない、ということばかり言つたものですから剣道の本質を離れてきておかしくなつてきました。反面教師でないが勝負をやる、楽しんでばかりいたんです。

二代目石田和外会長が剣道理念を定める

その次に、第二代全剣連会長で最高裁長官をやられていました石田和外さんです。この「智・仁・勇」も層があるので打たれても痛くありません。夕イツなんかだと痛くてたまらませんね。（爆笑）袴の中に空気の層があるので打たれても痛くありません。だから大切に扱つて下さいよ。大事な袴や稽古着はくるくるまるめて投げてはいけませんよ。（爆笑）ちゃんとたたむんですよ。それがまた教育になるのです。

竹刀の五つの節の意味合いは

竹刀を見て下さいよ。節がいくつありますか？竹刀の「節」は五つあります。一番手元にあります。柄革のちょっとした所に一つあります。表に出ているのが三つありますね。中結いを結ぶでしょ。その先がだいたい物打ちになりますね。どうしてこんな事を考えたのかなと思うんですけど。物打ちで技を練習するでしょ。それで技で知り、技で打つ。だから最初の節を智と言う。これが一つ。二つ目の節は打つたら痛い。太目の

所だから。そこで優しさ、惻隱の情。これが仁。もう気が小さいから、えいくそ目をつむつて打つていくとだいたい元打ちなんです。そこに三つの目の節があります。これが勇です。だから剣道の竹刀はいわずもがな知り勇というものを表しています。そしてあの柄革の中に二つ、礼節と謙譲です。それは柄革で隠してある。これは心の内の問題だから外に出さない。相手に対する、礼、相手に対する優しい譲りの精神、智仁勇、礼節、謙譲というのが竹刀にある五つの節の意味です。その節目といふのを剣道で大事に養いましょう、となつてているのです。もう一度言いますね。「何で竹刀に五つの節があるのか、智仁勇で技と行動を競い、それで剣道をやるんですよ」と。私がして柄革の中にある礼節と謙譲で剣道の心を養うのだ。これが竹刀を通じての人間の形成なんですよ。それ言っているのだから間違いありません。(爆笑)みなさん受け売りしていますよ。

(4)子供たちの教育は、みなさんが方、お母さん方の役目!

自分の勉強ですよ。今はだいぶ変剣の理法とは?

裏側にあることを理解して、智仁勇の教育の在り方を具現化したのが石田和外先生です。理念とは何か、人間生きていくための理想の概念です。それは何か、智仁勇という具現化する様な理想な概念をもたなければならぬということで、それでは「剣の理法による人間形成」としました。普通、学校の先生なんかは「人格形成」と言いますね。剣道ではなく人間も万遍なくすべからく剣道をやるということで、人間を創るんですから、なんということはない教育でしょ。だから「剣の理法の修練による人間形成の道」ということ。よくわからない様でけど、皆さんは本当に勉強して頂きたいのです

あれは大変なことなのです。その言葉の裏側にあるものをご理解して頂きたいのです。

良いけれども剣道は何が目的なんだもう少し具現化できないか?となり石田先生からは、剣道の理念を創ろうではないか、となりました。そこで生まれたのが、「剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である」という理念です。

わってきましたけれども、一時学校剣道の方でも智仁勇の頃で、勝てばいいということになつてくると、竹刀は四つ割りの竹程度しか考えなかつた。しかしあの竹刀を、なんでも言つてはいるように、心にある竹刀という物は刀である、と思つてはダメなんです。現実論より事実ですから、物ですから、しかしこの物によつて人間形成、人間の心を養う。さてそこで剣の理法によると書いてあるでしょ。剣の理法ってなんですか？

世界でね、鎬なんてだれが考えたんでしょうね。ジーッと入つていて相手が来たら鎬を使つて、よいしょと打てば切れるでしょ。刀の理法というのは法則性です。これの合致したのが剣の理法です。ここを本当に勉強してもらいたいのです。押して切るか、引いて切るか、打つて切るか、後は突くでしょ。物理的にあれだけの高度の物を作つたのは日本人だけです。

この理法をうまく使いなさい。刀の法則性というのは、刀は千変万化できるんです。

(4) 子供たちの教育は、みなさんが方、お母さん方の役目！

えて頂くと、子ども達どんなに喜びますか。たまにいえばいいんですよ、

算数の成績が悪い時には、いいのいいのそんなのは。あんたは剣道やつてね、算数はそれ以上のものを覚えている、とこうやるんです。（大爆笑）こう言うんですよ。そうすると

もつとやるでしょ。（笑い）こうして自然に頭がよくなる。皆さんまだ生まっていたかとも知れませんが、

その昔、読売新聞で剣道をやると頭が良くなるスポーツという記事があ

りました。これがかなりの反響を呼びました。やっていることが教育と結びつくでしょう。剣道やる子はタオルを崩れないで被るでしょ。生活の中から覚えたものだから忘れないんです。それが教育として一番大切な事なんですよ。剣道を通じて教わる物事がすべて人間の根幹にかかる教育になつていてるんです。そういう意味で、みなさん方、お母さんが子ども達に向かつて、剣道が下手だつていいんですよ。すこしく弱くてもいいんですよ。あんたの打ちは痛いけどいいのよ。痛くない様な方法はないかな。そう言えど手の内を考え打ち方を研究するでしょう。すべてがやり方だけです。だから、剣の理法を通じての人間の形

成、修練を行います。ツルや紐もちょっととずらせば五倍も十倍も長持ちします。節約するということを教えたなかつたから今の人間はみんなダメになつたのです。なんでも捨てる、捨てたらいいぐらいに思つてゐる。ここに節約するという事を教えれば、国がよくなるということです。剣道を通じて、子どもの教育に携わること。これが最高の教育と思つていま

す。

お母さん方が先頭になつて、
剣道指導を！

お母さん方が日本の剣道の指導者となつてやつて欲しいんです。これが最高の教育です。それから、剣道をやる人は何かあつた時、ケガが少ないですね。体力も生きるし、人間の善も倫理観もいきているのです。最高の教育としてこれからもこの良い剣道を独り占めしないで、分けてあげてください。そして、日本の国が明るくなる様にしていただけたら大変有り難いと思います。



(文責 大崎保)

智・仁・勇とは

講話の中で、竹刀には五つの節がある。これに、"智・仁・勇"、"礼節と謙譲"を当てはめて考えてみると、剣先に一番近い節（物打ち部）で、知恵を使い、技を磨く↓智。二番目の節では、相手に痛みを与える打突になるため、相手を思いやる心が生まれる↓仁。三番目の節（元打ち部）での打突は有効とはならないが、相手の懐深くまで攻め込んだ心↓勇。四・五番目の節は、なぜ柄の中にあるのか。それは、"礼節と謙譲"は、人前で露わにするものではない、といふ教えから、柄の中に納められているそうです。

松永先生の講話はとても楽しく一時間半という時も、あつという間に

武安義光会長のご功績

最後になつてしましましたが、武安義光会長のことも申し上げておかなければなりません。

剣道の三徳、剣道理念を行政に生かし実践された方が武安会長です。ご高齢にも関わらず、次々と現場に活きた施策を打つてこられましたね。

西三河 加藤かおり



松永先生の講話を拝聴して

西三河 原田利恵

過ぎてしましました。また、このような機会がありましたら是非参加したいと思います。

講話の中で先生が何度もおつしやつていた「智仁勇」という言葉。竹刀には五つの節がある。一つ目は智、相手を知る事、受け止める事。二つ目は仁。相手との惻隱の情。三つ目の節は勇。柄皮の中にあと二つ。礼節と謙譲があり、これは表にはださない、という意味合いで、心に残る印象深いお話しでありました。

剣道を精進することは技と行動を競い、心の形成になるのだと感じました。私も審判は、はつきり言つて苦手ですが、先生のお話しの中にあつた様に、経験、講習することによつて上達できるのだろうと感じました。審判力を上げるには試合にも出場することも大切な事だろうと思いました。試合を決めるのは「無心」の一本だと先生がおつしやつしていましたが、本当にそのとおりだと思うのです。無心で出した技は「一本」であり、試合を決めます。

竹刀にある五つの節の意味を知り、竹刀を愛おしく思う



審判力アップは試合に出る事

今回も、松永先生の楽しく、勉強になるお話を聞く事ができました。世界大会での審判の先生方の精神的緊張。ご苦労は大変な事だろう想像していました。私も審判は、はつきり言つて苦手ですが、先生のお話しの中にあつた様に、経験、講習することによつて上達できるのだろうと感じました。試合を決めるのは「無心」の一本だと先生がおつしやつしていましたが、本当にそのとおりだと思うのです。無心で出した技は「一本」であり、試合を決めます。

竹刀範士の講話を拝聴しました



東三河 原田利恵

多くの女性の方々と一緒に剣道の奥深さを知りました。世界大会の話題から、身近な領ける話しなど時間を忘れてしまつほどでした。勝った試合は覚えていないが、負けた試合は

覚えている話しを例に、意識して打つと、上手くいかなつたり、返されたりしてしまつたため、無心が大切であると教えていただきました。また、竹刀の節は「智・仁・勇」。柄革の中に「礼節と謙譲」を示していくことを聽いて、竹刀を愛おしく思ひながら、一緒に剣道を続けていきたいと感じました。

私は、これからも女性の特性を生かし、子ども達への指導に携わりながら、一緒に剣道を続けていきたいと感じました。

私はどうなのだろうと考えさせられました。心の奥底に自信のなさを感じていた私は、松永先生のお話から、自分にできることをひたすら稽古し、素直な心でやろうと勇気をもらいました。優しい語り口で話される先生のお話を聞いていて、ふと日頃教えて下さる先生や教室の子どもたち、共に汗を流す仲間、それこそ私の周りの様々な人達の顔が浮かんできてとても温かい気持ちになりました。

ぶり返つてみると、私はこれまで素晴らしい先生方や先輩方、仲間に出会いました。今、こうして楽しく剣道をすることはできるのは、こうした皆さまと支えてくれる家族のおかげであると、今、改めて思つています。今の自分がることに感謝し、松永先生からいたいた勇気と温かさを忘れずに、剣と心を磨いていき

たいと思います。



尾張 越前谷依子

残心は日本人の心の表現、今一度自分を見つめ直したい

女子部の講習会で松永先生の有り難いお話しをお伺いすることができました。

世界大会における日本の立場、審判に求められる能力、日本の剣道とは、残心の解釈、剣道の理念、竹刀の節や袴の折り目の意味など多岐に亘り、しかし全てが繋がつたものとして、お話しをして頂きました。

私の中で特に印象に残っているものは、残心の解釈と剣道の理念でした。形でなく、日本人の心の表現ですし、多くの剣友に出会い支えて頂きました。形でなく、日本人の心の表現である残心は、日本が持つ精神であること。また、剣道の理念が作られるまでのお話はたまたま「刀耕精話・小川忠太郎の遺した魂」という本を読み始めたばかりだったため、非常にありがとうございました。

亡き師、安藤兼一先生に恩返しうけました



和田美佐緒（尾張）

平成二十四年五月に七段に合格させていただきました。受審資格を得てから六年後でした。私は剣道を始めて三十九年になりますが、始めた時期はありました、環境に恵まれていたのでここまで続けてこられました。今は道場で力足らずかもしれないが指導をさせていただいている立場です。正直出稽古、講習会に行く時間は、主婦であり仕事を持つ

ります。

今回の七段昇段に際し、日頃ご指導頂きました諸先生方に心から感謝し、多くの剣友に出会い支えて頂きましたことに厚く御礼申しあげます。ありがとうございました。

亡き師、安藤兼一先生に恩返しうけました



笹井美幸（西三河）

平成二十四年五月に七段に合格させていただきました。受審資格を得てから六年後でした。私は剣道を始めて三十九年になりますが、始めた時期はありました、環境に恵まれていたのでここまで続けてこられました。今は道場で力足らずかもしれないが指導をさせていただいている立場です。正直出稽古、講習会に行きましたが、限られた時間の中で稽古をされている女性剣士の方々の後押せんが指導をさせていただいている立場です。正直出稽古、講習会に行く時間は、主婦であり仕事を持つ

相手があつて練習ができることに改めて感謝し、竹刀や防具の手入れ

に興味深く聞かせて頂きました。
・人間形成の道は、自分の勉強である。

・剣道を通じて、沢山の事を学ぶことができる。

相手があつて練習ができることに改めて感謝し、竹刀や防具の手入れ

に興味深く聞かせて頂きました。

意味があることを、もう一度見つめ直し、自分を律する気持ちを忘れな

いように務め様と思いました。
(文中敬称略)

女子剣道七段

四名誕生



諸先生、剣友、家族のお蔭に感謝です

東 由美子（名古屋）

剣道歴三十八年。私が剣道を始めたのは高校一年の春でした。姉の勧めもあり、あまり気が進まなかつたのですが仕方なく剣道部に入部しました。その後大学に進学し、いつの間にか自分の大切な生活の一部となつていて、姉と一緒に大会や昇段審査に行くと必ず両親が来てくれます。そして、剣道が縁で結婚。主人は剣道に対し一番の理解者であり、二人の子供もそれぞれ剣道に携わっています。家族皆のおかげで剣道ができる環境にあり、長年剣道を続けてくることができ、本当に幸せだと思っています。

今回、七段審査を受けるにあたり今までと違つた点は、精神面が安定していいたことです。色々なプレッシャーを背負つて剣道を続けていた自分に「この春の審査はだめでも秋に受かればいいから、思い切つてやりなさい」と、先生からご指導頂き、気持ちばかりが焦り空回りしている自分が心のない剣道をしていたことに気づきました。心に響く剣道は自

然な所でした。

自然体で審査に臨めた様です

私にとっては皆無でしたので、稽古相手は道場の子ども達でした。でも

子供達との稽古では、必ず自分に課題をもつて意識はしていました。こども達から学ぶ事も沢山ありました。

今の私があるのも、家族、道場の子供達、私に関わる全ての方々おかげだと感謝しています。

先に七段に合格されました中村登志子先生と誓つた約束があります。

私は剣道の師である範士安藤兼一先生がお亡くなりになつた時に私達が出来る恩返しは七段に合格する事だと誓いました。諦めずに何度も挑戦をする中村先生が合格された時、自分の事のように嬉しかつたと同時に、あとは私が合格する事だと頑張る気持になれました。

審査当日の朝はいつものように家事をこなしながら会場に向かいました。やつてきた事しかできないのだからと落ち着いた気持ちで臨むことが出来ました。それがよかつたのかも知れません。

今回國らずも合格させていただきさせていただきました。受審資格を得てから六年後でした。私は剣道を始めた三十九年になりますが、始めた時期はありました、環境に恵まれていたのでここまで続けてこられました。今は道場で力足らずかもしれないが指導をさせていただいている立場です。正直出稽古、講習会に行きましたが、限られた時間の中で稽古をされている女性剣士の方々の後押せんが指導をさせていただいている立場です。正直出稽古、講習会に行く時間は、主婦であり仕事を持つ

相手があつて練習ができることに改めて感謝し、竹刀や防具の手入れ

分に強い思いがあつてこそ伝わる。

先生の一言が私の心に響いたように今であります。そこで自信を持てばいいと思えるようになりました。そして、もうひとつは女子の六・七段講習会でした。技術面では、毎回熱心なご指導を頂き、講習生も同じ目的を

持つてお互いの気を感じながらお稽古を重ねてこれ、私には他に無い、貴重な時間であったことは間違います。

また受け取り方もさまざまです。他の県で七段に合格した女性が一人目は一本も打たず、二人目にたつた一本打つただけなのに合格されたと聞き、頭の中にあつた打つた打たれたではあります。また、講話は同じような内容であつてもそれ表現が違います。

審査に行くと必ず両親が来てくれます。そして、剣道が縁で結婚。主人は剣道に対し一番の理解者であり、

二人の子供もそれぞれ剣道に携わっています。家族皆のおかげで剣道ができる環境にあり、長年剣道を続けてくることができ、本当に幸せだと思っています。

今回、七段審査を受けるにあたり今までと違つた点は、精神面が安定していいたことです。色々なプレッシャーを背負つて剣道を続けていた自分に「この春の審査はだめでも秋に受かればいいから、思い切つてやりなさい」と、先生からご指導頂き、気持ちばかりが焦り空回りしている自分が心のない剣道をしていたことに気づきました。心に響く剣道は自

然な所でした。

自然体で審査に臨めた様です

私にとっては皆無でしたので、稽古相手は道場の子ども達でした。でも

子供達との稽古では、必ず自分に課題をもつて意識はしていました。こども達から学ぶ事も沢山ありました。

今の私があるのも、家族、道場の子供達、私に関わる全ての方々おかげだと感謝しています。

先に七段に合格されました中村登志子先生と誓つた約束があります。

私は剣道の師である範士安藤兼一先生がお亡くなりになつた時に私達が出来る恩返しは七段に合格する事だと誓いました。諦めずに何度も挑戦をする中村先生が合格された時、自分の事のように嬉しかつたと同時に、あとは私が合格する事だと頑張る気持になれました。

審査当日の朝はいつものように家事をこなしながら会場に向かいました。やつてきた事しかできないのだからと落ち着いた気持ちで臨むことが出来ました。それがよかつたのかも知れません。

今回國らずも合格させていただきさせていただきました。受審資格を得てから六年後でした。私は剣道を始めた三十九年になりますが、始めた

時期はありました、環境に恵まれていたのでここまで続けてこられました。今は道場で力足らずかもしれないが指導をさせていただいている立場です。正直出稽古、講習会に行きましたが、限られた時間の中で稽古をされている女性剣士の方々の後押せんが指導をさせていただいている立場です。正直出稽古、講習会に行く時間は、主婦であり仕事を持つ

相手があつて練習ができることに改めて感謝し、竹刀や防具の手入れ

意味があることを、もう一度見つめ直し、自分を律する気持ちを忘れな

いように務め様と思いました。
(文中敬称略)

お礼を申し上げます。ありがとうございました。

「我慢する」「待つ」とが、剣道七段に結びついたのでしょう



青山光加（尾張）

昨年十一月、名古屋で行なわれました七段審査に皆様のおかげを持ちまして、合格となりました。平成二十年の夏（四十六歳）からの受審、八回目での合格でした。

審査も三回目くらいまでは反省したり、方針や目標を立てたりしていまましたが、だんだんと自分でも何がいいのか悪いのかわからなくなり、自分の剣道を見失ってしまいました。先生方、先輩方からもアドバイスを頂きましたが、自分の中で消化できなかつたようで、やはりうまくいきませんでした。

また、仕事や家庭でつらいことが重なる中、病いを患い、入院・手術ということもありました。八方塞り

な自分に落込む日々でしたが、その中で、我慢することを覚えました。

我慢の中でも自分が最も苦手とする「待つ」は、子育ての中で子供に教えられました。自分から動く事も大切ですが、自分を信じて「我慢する」「待つ」ことで、人の動きや感情も変わってきます。その点は剣道に通じるものがあるのかもしれません、子供達にも感謝です。

今回の審査では、澄んだ湖のような心で臨むことができたので、七段を受けたのではないかと思つています。

大学入学の為、熊本より愛知に移り住んで早くも三十年となります。その間には病氣で夫を亡くし、仕事と家庭に忙しく、「もう剣道なんてできない」と思つたこともあります。しかし、今思い返せば「剣道が好き」という気持ちに支えられ、仕事を家庭も剣道も前進することができました。また、先生方、先輩方に温かい励ましを頂きましたことが、前進する力になりました。

七段に合格した今、これから的人生も剣道とともに歩んでいこうと、強く心に思つています。

（文中敬称略）

女子部剣道七段祝賀会

女子部では毎年新七段の誕生を機に、祝賀会を開催しています。

今年は、二月二日(土)名古屋栄の東急インで行われました。昇段者は、東由美子、和田美佐緒、篠井美幸、青山光加の四先生。会場には、山本会長、安部理事長他十一名の役員の先生方、各地区より、九十名。総勢一〇三名の会員を集めての祝賀会となりました。

山本会長からは、皆さんの普段の努力が実を結びました。女子部の稽古会等を通じて引き続きご自身はもちろのこと、ここにおられる仲間の皆さんとともに女子剣道を発展させて下さいとのご挨拶をいただきました。



H24.4.19 新日鉄体育館での稽古会

地区だより

【名古屋市剣道連盟】

名古屋市剣道連盟は、お蔭様を持ちまして今春六十周年を迎えることが出来ました。感謝致しまして、去る三月二十四日愛知県武道館において式典並びに小・中学校対抗剣道大会を実施致しました。大会終了後東急ホテル（ヴエルサイユの間）に会場を移し祝賀会を行いました。

当日は、（一財）愛知県剣道連盟会長、理事長、事務局長始め各地区的理事長、事務局長の先生方にもご出席頂き式典に華を添えて頂きました。お忙しい中ご臨席頂きました事改めて御礼申し上げます。

当連盟は今年度より新体制になり、小・中学生の育成強化に重点を置き、基礎、基本のレベルアップに努めてまいります。又、月二回の稽古会も一層充実させて参りますので皆様方の御参加お待ちしております。

その昔、道場で稽古が終わつた後、車座にどつかと座り、一升ビンから茶碗で廻し飲みをしながら剣道談議に花を咲かせた。

〔西三河剣道連盟〕

西三河剣道連盟では、総務表彰委員会・審査講習委員会・強化委員会・

西三河剣道連盟では、総務表彰委員会は西三河剣道連盟主催の大会は西三河剣道大会を六月に、西三河段別及び女子段別大会を九月に、西三河日本剣道形大会を十月、西三河少年剣道大会県予選を兼ねた

【尾張剣道連盟】

尾張剣道連盟の、主要な行事の一

つに一泊稽古会があります。

三年程前から、交通の便、移動の問題等から、体育館併設で尾張部のほぼ真ん中、春日井市の「グリーンパレス春日井」で行つております。

毎年、二月の行事の少ない時期を見計らつて土曜・日曜と行つております。

土曜日午後三時からの稽古は、八段の先生以下毎年百名程の会員が集まり、約一時間から一時間半、苦しも楽しい汗を流します。

稽古のみの会員の皆様は、ここまで以下宴会と宿泊の組が残り、入浴を済ませ第二道場へと入つていきます。

この第二道場が、とても有意義で、楽しいのです。

竹刀を交えての打つた・打たれた

では得られない奥深いものを教えて頂いたり、この先生はこう言う所まで見ているんだと気づかされたり

……。

その昔、道場で稽古が終わつた後、車座にどつかと座り、一升ビンから茶碗で廻し飲みをしながら剣道談議に花を咲かせた。

こう言う羨ましい話を、よく聞かされました、現在の車社会では全く無理な話ですが。

年に一度は有りますが、まさに無理な話ですが。

そう言う事柄が一杯詰まつた稽古会の楽しい稽古会を見回しますと、

二十代・三十代・四十代前半の若い人が殆ど居ない。私らみたいなおっさんばかり、剣道が大好きな若い人は一杯居るのですが、やはり煙たいのかこう言う所は一步引いています。

役員会や稽古会、年寄りばかりの会では無くて、若い会員の皆さんにもどしどし参加して欲しいし、健全な世代交代の為にも若い人達を交えて行こう。

と言う事で理事長発案の元役員会にて、平成二十五年度、青年部を何かしよう、と言う事になりました。

若い人達に会合・稽古会その他どん参加して意見も言つて貢うし行動もして貢う。

その為の第一歩を踏み出しました。

財務委員会・大会委員会・居合委員会・女子部と特に西三河剣道連盟で自慢できる活動として高齢者による活動が活発に行われています。

各委員会活動内容として総務表彰委員会では規定・内規の見直し等検討中で、表彰については各地区から推薦された表彰対象の先生を委員会で協議し決定しております。

審査講習委員会では指導者講習会を計画し昨年度は二回開催し参加者合計百六十三名の参加者があります。その他級審査会を年三回実施しています。

強化委員会は主に中学生の強化練習会を実施していますが、名称を西三河中学生選抜稽古会と名称を変更し多くの中学生の参加で稽古会が行われています。

財務委員会は会計収支ならびに西三河後援の大会助成金が規定に沿つて適切に監督されています。

大会委員会は西三河剣道連盟主催の大会は西三河剣道大会を六月に、西三河段別及び女子段別大会を九月に、西三河日本剣道形大会を十月、西三河少年剣道大会県予選を兼ねた

大会を十一月に最後に西三河剣道祭

を二月に行います。

西三河剣道連盟主催ではあります

が、各地区剣道連盟主管として協力

して頂き大会前の運営打ち合わせを行なう事前会場設営等主管剣道連

盟には大変お世話になっています。

お陰をもちまして、昨年の大会も

問題なく運営できたのも各地区主管剣連の先生のお陰だと感謝いたしました。

最後に西三河剣連のトピックスとし

て、八段の先生が杉浦先生・山田先生と二名合格されたことです。西三河剣連で八段の先生が六名在籍です。八段の先生の指導をお願いし西三河剣連の発展を希望します。

【東三河剣道連盟】

東三河剣道連盟は、豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市、新城市、北設楽郡で構成されています。年間の事業計画は、各地区的組織づくり、人間関係の向上を願い、各地区的事業計画への支援や協力体制で、より東三河剣道の発展を考えながら年間事業を計画しています。

東三河剣道連盟の稽古会は、畠山隆吉八段・杉浦正人七段の講師のも

第五回全剣連派遣講師 高段者講習会の模様

居合道委員 水野 隆

居合道・杖道

平成二十四年十二月十五日(土)十

六日(日)の二日間、露橋スポーツセンターにおいて、全剣連派遣講師である小倉昇範士をお迎えし、約百三十名(ほぼ全員が五段以上)

の参加を得て、盛大に標記講習会を開催しました。

山本重夫県連会長の歓迎と激励の挨拶をいただき後、小倉講師よ

り、連盟居合が指導要綱に基づいて行われているか?との説明がされ、直ちに稽古に入りました。先生は基

本稽古の重要性を説かれ、体捌きに刀は付いて来ているか?の観点によ

り反復稽古を行う等のご指導をいた

だきました。切れる居合、体捌きによ

る対敵動作、柔らかい手の内、敵をつくり見る事により、居合になる、

と力説。およそ十通りの基本稽古の後実技に入りました。高段者は練度によって形だけでなく研究・工夫そ

と、毎月一回土曜日の午後二時より五時の三時間の稽古会を行っています。東三河の剣道の質の高まりを求めて、それぞれの段の審査を想定しての立合い、また、攻めや打突の機会についての助言をいただいたら、七段の先生方との稽古を重ねています。十一月の稽古会は、十一月上旬に計画をし、多くの受験者が集まり五十名を越える盛会になり、合格者も多くの者が昇段することができます。

将来を考え、高校生や中学生の指導も計画しております。高校生は年三回と高体連主催の剣道大会後に、先生方に稽古をお願いするよう計画しています。中学校では、顧問の先生が剣道経験者が減少傾向のため、中学校夏季総合体育大会の各地区大会、東三河大会に連盟の先生方が審判の協力・指導をするようにしています。生涯体育剣道となるように青少年と多くかかる機会を設けて育成しています。東三河の中学校では、生徒たちは何かひとつ活動に所属しなければならなく、小学校で剣道を習っていない者たちが多く入部してくれています。

また、各地区では、市内の少年大会を年に数回計画をしてくれ、少年大会を年に数回計画をくれ



小倉範士の解説に学ぶ講習会のみなさん

感動しました」とのお言葉がありまして、二日目には連盟居合十二本を立ち技で連続して抜く稽古法を実施。最後は二人一組になり、お互に気づいた所を注意し合い、気づかないと自分で直すことが出来ない、との相互注意とも言うべき稽古法をとりいました。講話の中では精神文化の武士道であること。日本刀の伝統文化等のお話をいただき、実技に入りました。小倉先生の真剣で激しく、そして温かいご指導により講習生は感激しておりました。そして先生からは「皆さんには確かに稽古が充分でないとできません」との有り難いお言葉をいただきました。

講習の終わりにあたり、小倉先生からは、「山本剣連会長、安部理事長、北村事務局長の先生方が二日間を通じ、終始席を立たず、その熱心さと居合に対する理解をいたしましたこと

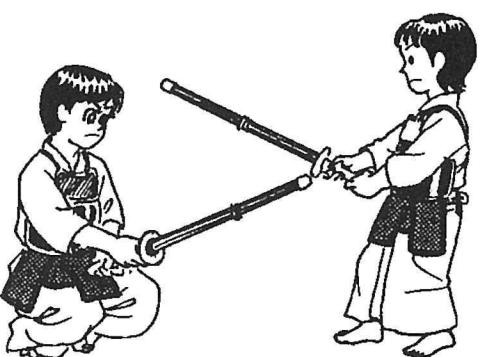
に取り組んでいた 것입니다。東三河として剣道人口確保のため、今後も連盟として魅力ある取り組みを考えいかなければならない。

たちの試合経験をより多くさせるよう取り組んでいただいている。東三河として剣道人口確保のため、山崎先生におかれましては、ご多忙にかわらず尾南地区事業にご尽力いただき、講習会を盛会に終えられた。心から感謝申し上げます。

技能力を各地域に持ち帰り生かした指導を期待いたしております。山崎先生におかれましては、ご多忙にかわらず尾南地区事業にご尽力いただき、講習会を盛会に終えられた。心から感謝申し上げます。

尾南地区剣道連盟では、平成二十四年六月三十日(土)東海市民体育館剣道場及びサブアリーナにおいて、県講師として山崎尚先生をお迎えしました。

これまで、受講者は段位制限を実施してまいりましたが、今回、その方と範囲を広げ、指導力・技術の向上を図る事を目的に実施いたしました。参加者は、六市五町から百名を超える多くの指導者が受講いたしました。



杖道部会の活動

杖道委員 前田 新吾

本年一月十八日、東京都江戸川スポーツセンターにて「杖道七・六段審査会」が行われ、本県から七段(七・六段)に挑戦され、合格されることを期待しております。

昨年十月十四日には、広島市立総合体育館において、「全剣連設立六十周年記念第三十九回全日本杖道大会」が開催されました。本県から、三段の部、六段の部、個人演武の部に出場いたしました。夫々初戦は突破したものの、全国の壁は厚く、上位進出は果たせませんでした。本年は、十月六日に札幌市で開催されることが決まっており、多くの選手が出場して、上位進出を叶えたものだと思っております。

なお、他県の主催ではありますが、他府県からも出場が認められている大会において、本県の選手が輝かしい戦績を残しておりますので紹介い



<決勝リーグ>

道場名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	得点	本数
洗心	永井	森	堀尾	安藤	木全		
	(◎)	X	(◎)ド		(◎)メ	3	5
		X		(◎)メ		1	2

道場名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	得点	本数
伊劍心館	稻本	内	和田	上	牧枝		
	(◎)	X	(◎)ド	(◎)メ	(◎)メ	3	3
	(◎)	X		◀		1	1

道場名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	得点	本数
洗心	永井	森	堀尾	安藤	木全		
	(◎)	X	(◎)ド	(◎)メ	(◎)メ	3	3
	(◎)	X		◀		1	1

道場名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	得点	本数
結城武館	尚武館	藏持	赤野間	小松崎	向田	松澤	
	(◎)	X	(◎)反	X	X	2	2
		X	◀	X	X	0	0

道場名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	得点	本数
洗心	永井	森	堀尾	安藤	木全		
	(◎)	X	(◎)反	X	X	2	2
		X	◀	X	X	0	0

道場名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	得点	本数
横浜塚	戸塚	梶田	後藤	萩田	本田	井出	
	(◎)	X	(◎)反	X	X	2	2
		X	◀	X	X	0	0

東別院 洗心道場 念願の全国優勝！

りますので、諸先生諸先輩方におかげましては相変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げました。道場連盟加盟のご希望がございまして、事務局伊藤国博までご連絡ください。

三段の部で戸谷高さんが、夫々優勝し、本年三月十日の「三重県剣道大会（第一回記念大会）」では、二・三段の部で、本県から出場した三名子さん（戸谷高さん、南敦也さん、野呂せつ子さん）が一位から三位までを独占しました。

杖道は、剣道・居合道と共に剣道連盟の傘下ではあります、認知度が低く、会員数も多くありません。

たします。昨年七月一日「神奈川県杖道大会（神奈川県親善杖道大会）」にて、二段の部で野呂せつ子さんが、三段の部で戸谷高さんが、夫々優勝し、本年三月十日の「三重県剣道大会（第一回記念大会）」では、二・三段の部で、本県から出場した三名子さん（戸谷高さん、南敦也さん、野呂せつ子さん）が一位から三位までを独占しました。

杖道は、剣道・居合道と共に剣道連盟の傘下ではあります、認知度が低く、会員数も多くありません。



次代を担う少年達の稽古

杖道を知つて頂くために、機会をみつけた演武をさせて頂いております。本年三月二十日には、愛知県剣道連盟のご厚意にて「愛知県春季少年剣道大会」の会場で演武をさせて頂きました。その他各種大会等に演武をさせて頂ける機会がございましたら、お声を掛けて頂けると幸いです。



道場連盟だより

愛知県剣道道場連盟の主な事業の中から、今回は「研修会」をご紹介します。道場連盟加盟団体間の交流と指導者自身の研鑽の場として親睦を深め、子どもたちの技術向上を目的に、年六回程度の頻度で開催している「研修会」は本年六月現在で六十四回を数えます。内容は徳目を指導する講話を始め、試合稽古、互角稽古、指導稽古と充実したものになっています。参加者数は一回平



均約四百人です。試合稽古では部門を中学生、小学生高学年、低学年、小学二年生以下など細かく分けて、どの年代の子どもたちでも参加しますが、研修会では一日で八試合ほどで

さきの有意義である「試合経験のない子でも、この研修会のおかげで貴重な体験ができる」「試合だけ行うのではなく、様々な先生方からご指導いただけるので、自らの指導の参考になる」など、研修会に参加してよかったですといふ声が多く寄せられています。いるのは、大変ありがたいことです。

道場連盟は将来を担う少年少女剣士に正しい剣道を伝えて、生涯にわたり取り組んでもらえるように指導することを第一義としています。剣道の楽しさ、厳しさ、奥深さを伝えたいと考えます。今後も、一人でも多くの子どもたちに正しい剣道を伝えていく事業を運営してまいりたいと考えます。

今年三月三十一日、茨城県水戸市で開かれた「第五十四回全国選抜少年剣道錬成大会」で道場連盟加盟団体である洗心道場が見事に優勝を果たしました。この快挙は本県の少年剣道において更なる活性化につながると思います。

持たせる③将来の夢と近い目標を決めさせる。

一つ目は実戦で得た貴重な事例を細部に亘り修正し稽古にて強化する。二つ目は、性格や考え方皆違う中、劍道の厳しい稽古にて短所を直させ長所を伸ばし、勝ためにはどのようになり素直な気持ちができるてくると指導者の言葉や考え方が浸み込むようになる。三つ目 将来なりたい職業や選手に夢を持たせる、その夢

を実現させるべく目標を選定させる。これにはご父兄のご尽力、指導者の情熱、東別院の協力無くてはできませんでした。これからも素晴らしい人づくりができるよう頑張りたいと思います。

洗心道場 師範長 内田信之

高体連の事業より

第22回全国高等学校剣道選抜大会、平成二十五年度愛知県高等学校総合体育大会報告

愛知県高体連剣道専門部委員長
名古屋市立向陽高等学校 宮崎正充

平成二十五年三月二十七日・二十八日に第22回全国高等学校剣道選抜大会が春日井市総合体育館において実施され、大過なく終了いたしました。今回から後援をJR東海様から春日井商工会議所様にお願いすることになりましたが、多大なるご協力を頂き素晴らしい大会で終える事ができ、この場をお借りして春日井市様、春日井商工会議所様に心より御礼を申し上げます。さて、試合結果ですが、男子は九州学院（熊本）が六年振り五回目の優勝。二位は水戸葵陵（茨城）、三位は小山（栃木）、東福岡（福岡）。女子は麗澤瑞浪（岐阜）が初優勝。二位は帝京第五（愛媛）、三位は大分鶴崎（大分）、守谷城（守谷城）が準優勝、鈴木（鶴城）が三位となつた。結果は次の通りである。

た。また、個人戦では昨年度に引き続き愛知県勢が男女ともに一名ずつ決勝進出を果たし、男子が県大会優勝の塩屋（矢作北）が優勝、高津（青海）が三位となり、女子では杉浦（鶴城）が準優勝、鈴木（鶴城）が三位となつた。

団体戦

（男子の部）（準々決勝）、平坂（愛）
2-0 大和（岐）、浜松中部（静）
4-1 緑陽（岐）、東海大翔洋（静）
2本-2 御浜（三）、神戸（三）
3-0 境川（岐）
(準決勝) 浜松中部3-2 平坂、東海大翔洋4-1 神戸
(決勝) 浜松中部3-1 東海大翔洋

（女子の部）（準々決勝）鶴城（愛）
4-0 大和（岐）、浜松中部（静）
3-2 有馬（三）、大須賀（静）
4-1 蘇南（岐）、御前崎（静）
1-0 相良（静）
(準決勝) 鶴城4-0 御前崎
(決勝) 鶴城4-0 御前崎

（男子の部）（準々決勝）塩屋（矢作北）メー正岡（東海大翔洋・静岡）、佐藤（神戸・三重）メー池内（猪高）、高津（青海）コメー宮嶋（下

個人戦 ※ 準々決勝以上関係分

団体戦

（男子の部）（準々決勝）塩屋（矢作北）、佐藤（神戸・三重）メー池内（猪高）、高津（青海）コメー宮嶋（下

（男子の部）（準々決勝）塩屋（矢作北）、佐藤（神戸・三重）メー池内（猪高）、高津（青海）コメー宮嶋（下

団体戦

各部門の結果は次の通りである。

団体戦

（男子の部）（準々決勝）塩屋（矢作北）、佐藤（神戸・三重）メー池内（猪高）、高津（青海）コメー宮嶋（下

団体戦

（男子の部）（準々決勝）塩屋（矢作北）、佐藤（神戸・三重）メー池内（猪高）、高津（青海）コメー宮嶋（下

仙台育英に僅差で負け、愛工大名電は九州の強豪大分舞鶴に勝ちました。秋田商業に惜敗、女子名経大市村は八代百合に接戦で負け二敗、岡崎城西は準優勝の帝京第五に善戦しましたが二敗でした。愛知県勢はもう一伸びすれば予選リーグを突破できることを感じました。さて、インターハイ、東海総体の代表を決める愛知県高校総体が個人戦は五月十八日に、

団体戦は同二十五日に終了しました。個人戦は男子一位は野衣聖大選手（桜丘）、二位高井秀将選手（星城）、三位中村匡志選手（岡崎城西）、寺本裕紀選手（名古屋）、五位岡部隼太選手（豊田南）、鈴木歩選手（桜丘）、石川恒之介選手（星城）、櫻井佑興選手（滝）、女子一位は山田絵里華選手（岡崎商業）、二位加藤妃南子選手（名経大市邨）、三位宮内瑠奈選手（桜丘）、伊藤百恵選手（三好）、五位土本歌歩選手（至学館）、後藤美織選手（名経大市邨）、磯村和可子選手（西尾東）、小川舞花選手（星城）でした。団体戦は男子一位桜丘、二位（岡崎商業）、二位加藤妃南子選手（名経大市邨）、三位宮内瑠奈選手（桜丘）、伊藤百恵選手（三好）、五位星城、二位岡崎商業、三位三好、一位星城、二位岡崎商業、三位三好、一位星城、二位岡崎商業、三位三好、三位がインターハイへ、一～五位が東

海総体に、団体戦は一位がインターハイへ、一～三位が東海総体にそれぞれ出場します。愛知県勢の活躍を中心より祈念して報告とさせて頂きます。

中体連の事業より

◇ 第六十六回愛知県中学校総合体育大会の結果について

平成二十四年七月三十一日(火)、春

日井市市総合体育館にて、団体男女各二十四チーム、個人男女各四十八名ずつ参加し、熱戦が繰り広げられた。結果は次の通りである。

団体戦

（男子の部）（準々決勝）知多東部2本-2 藤森、萩山2代-1 青海、平坂2-1 春日井中部、豊川東部4-1 本城、平坂3-1 福地、平坂2-1 豊川東部（準決勝）萩山2本-1 知多東部、

（準決勝）平坂5-0 萩山3-2 西尾、平坂3-1 豊岡、西尾東部4-0 滝、鶴城5-0 守山東

（準決勝）平坂2-1 名経大市邨、（準決勝）平坂2-1 沼田西・群馬

（女子の部）（準々決勝）名経大市邨3-2 西尾、平坂3-1 豊岡、西尾東部4-0 滝、鶴城5-0 守山東

（準決勝）平坂5-0 萩山3-2 西尾、平坂3-1 豊岡、西尾東部4-0 滝、鶴城5-0 守山東

（準決勝）平坂2-1 沼田西・群馬、

（女子の部）（準々決勝）名経大市邨3-2 西尾、平坂3-1 豊岡、西尾東部4-0 滝、鶴城5-0 守山東

（準決勝）平坂5-0 萩山3-2 西尾、平坂3-1 豊岡、西尾東部4-0 滝、鶴城5-0 守山東

（男子の部）（準々決勝）平坂1-2 九州学院（熊本）（結果および順位）

九州学院 1.5勝3勝者④本1位
潮田 1.5勝2勝者③本2位
平坂 0勝1勝者②本3位

（女子の部）（準々決勝）鶴城0-5 住吉第一（大阪）（結果および順位）

住吉第一 1-1勝6勝者⑩本1位
笠鶴城 1-10 笠懸（群馬）

（女子の部）（準々決勝）鶴城0-5 住吉第一（大阪）（結果および順位）

住吉第一 1-1勝6勝者⑩本1位
笠鶴城 1-10 笠懸（群馬）

（男子の部）（準々決勝）鶴城0-5 住吉第一（大阪）（結果および順位）

住吉第一 1-1勝6勝者⑩本1位
笠鶴城 1-10 笠懸（群馬）

（男子の部）（準々決勝）鶴城0-5 住吉第一（大阪）（結果および順位）

住吉第一 1-1勝6勝者⑩本1位
笠鶴城 1-10 笠懸（群馬）

（男子の部）（準々決勝）鶴城0-5 住吉第一（大阪）（結果および順位）

住吉第一 1-1勝6勝者⑩本1位
笠鶴城 1-10 笠懸（群馬）

個人戦

（男子の部）優勝 塩屋裕斗（矢作北）

準優勝 池内直貴（猪高）

第三位 乗田慎平（平坂）

第二位 岩瀬奈津貴（福地）

第一位 安藤千尋（南山）

（女子の部）優勝 杉浦可苗（鶴城）

準優勝 鈴木結女（鶴城）

第三位 岩瀬奈津貴（福地）

第二位 安藤千尋（南山）

（男子の部）優勝 塩屋裕斗（矢作北）

準優勝 池内直貴（猪高）

第三位 乗田慎平（平坂）

第二位 岩瀬奈津貴（福地）

第一位 安藤千尋（南山）

（女子の部）優勝 杉浦可苗（鶴城）

準優勝 鈴木結女（鶴城）

第三位 岩瀬奈津貴（福地）

第二位 安藤千尋（南山）

（男子の部）優勝 塩屋裕斗（矢作北）

準優勝 池内直貴（猪高）

第三位 乗田慎平（平坂）

第二位 岩瀬奈津貴（福地）

第一位 安藤千尋（南山）

（女子の部）優勝 杉浦可苗（鶴城）

準優勝 鈴木結女（鶴城）

第三位 岩瀬奈津貴（福地）

第二位 安藤千尋（南山）

（男子の部）優勝 塩屋裕斗（矢作北）

準優勝 池内直貴（猪高）

第三位 乗田慎平（平坂）

第二位 岩瀬奈津貴（福地）

第一位 安藤千尋（南山）

（女子の部）優勝 杉浦可苗（鶴城）

準優勝 鈴木結女（鶴城）

第三位 岩瀬奈津貴（福地）

第二位 安藤千尋（南山）

（男子の部）優勝 塩屋裕斗（矢作北）

準優勝 池内直貴（猪高）

第三位 乗田慎平（平坂）

第二位 岩瀬奈津貴（福地）

第一位 安藤千尋（南山）

（女子の部）優勝 杉浦可苗（鶴城）

準優勝 鈴木結女（鶴城）

第三位 岩瀬奈津貴（福地）

第二位 安藤千尋（南山）

（男子の部）優勝 塩屋裕斗（矢作北）

準優勝 池内直貴（猪高）

第三位 乗田慎平（平坂）

第二位 岩瀬奈津貴（福地）

第一位 安藤千尋（南山）

おめでとう

（男子の部）優勝 塩屋裕斗（矢作北）

準優勝 池内直貴（猪高）

第三位 乗田慎平（平坂）

第二位 岩瀬奈津貴（福地）

第一位 安藤千尋（南山）

（女子の部）優勝 杉浦可苗（鶴城）

準優勝 鈴木結女（鶴城）

第三位 岩瀬奈津貴（福地）

第二位 安藤千尋（南山）

（男子の部）優勝 塩屋裕斗（矢作北）

準優勝 池内直貴（猪高）

第三位 乗田慎平（平坂）

第二位 岩瀬奈津貴（福地）

第一位 安藤千尋（南山）

（女子の部）優勝 杉浦可苗（鶴城）

準優勝 鈴木結女（鶴城）

第三位 岩瀬奈津貴（福地）

第二位 安藤千尋（南山）

（男子の部）優勝 塩屋裕斗（矢作北）

準優勝 池内直貴（猪高）

第三位 乗田慎平（平坂）

第二位 岩瀬奈津貴（福地）

第一位 安藤千尋（南山）

剣道・居合道・杖道

平成16年6月22日(改定)

段・級	審査料	登録料
8～2級	1,000円	1,900円
1級	1,100円	2,500円
初段	2,000円	5,200円
式段	2,200円	6,100円
参段	3,100円	8,900円
四段	3,800円	11,000円
五段	4,800円	17,000円
六段	11,000円	37,200円
七段	14,000円	60,100円
八段	17,000円	87,200円
称号		
鍊士	17,400円	49,000円
教士	25,000円	70,000円
範士		105,000円

※審査日前日までに満七十七歳になつた方は、登録料半額
※一級受験に際し、加盟金（終身）五、〇〇〇円を納入して、愛知県剣道連盟に加盟しなければなりません。



<http://www.aichi-kendo.jp/>

また岐阜剣連、三重剣連
静岡剣連ホームページへの
リンクもしております。

項は、約二ヶ月前には当連盟ホームページに掲載しております。
また大会申込書以外にも、審査会申込書、加盟（入会）手続書がダウンロード出来るようになりましたので、必要な方は各居合道、杖道のタブよりご確認下さい。

愛知県策道連盟六一ノヘシ案内

るだけ早い段階で掲載するよう努めておりますが、多少のお時間をお要する場合もございますので何卒ご了承下さい。

評議員監理事

上吉寒倉新中熊白平田東三松宮山田稻畠山大堀丹平古田東高渡東大
北原竹田美川澤石井村 澤岡崎崎中吉山口田山羽原賀中 山邊嶽
鞆辰富 邦治洋裕道彰由芳良正 源 隆和義健正 萬輝良潤 一將
士 美雄明廣彦二章典浩子郎高充尚五悟吉義弘治則稔 美志美一香良文
也

長久保田並谷昌政多加史司
水田藤嶋坂本橋道鐘厚房園夫一雄司直涉晴司
松山富士藤手渡深水久良保田田原藤下本田忠明允孝彰
大高井白丹羽村永野萬須美利尚賢源隆一弘則一
合古賀永彰正潤義孝大利幸美治五夫

事務局	医療委員会	杖道	居合道	強化
		◎	◎	○ ○
濱本みどり 玉木十糸子 牧野翠	竹内良仁 大仲良徳 増田健太郎 宇野徹夫 羽田嗣吾	小島新郎 中村六郎 前田隆彦 佐原邦彦	水野一彦 鈴木利和 瀧木順彦 前田和彦	東山一良 畠山良美 平井典尚 山崎尚

五地区剣道連盟所在地

尾張剣道連盟	理事長 渡邊 香	事務局長 吉原辰美
〒491-0903 一宮市八幡4-1-28	一宮市武道館内	TEL 0586-43-1023 FAX同じ
名古屋市剣道連盟	理事長 尾野博之	事務局長 古賀萬須美
〒454-0022 名古屋市中川区露橋1-31-20	富士見ビル2-G	TEL 052-361-8073 FAX同じ
西三河剣道連盟	理事長 堀山健治	事務局長 手嶋道雄
〒471-0813 豊田市野見山町3-78-14	手嶋様方	TEL 0565-89-3274
東三河剣道連盟	理事長 白井孝一	事務局長 田中源五
〒441-1206 豊川市篠田町割塚26-3		TEL 0533-93-3621
尾南地区剣道連盟	理事長 光永勉	事務局長 山田政晴
〒479-0862 常滑市小倉町5-48	山田様方	TEL 0569-42-3895 FAX同じ

中日新聞社

成績の持参またはファックス先は以下の通りです。

◇本社(名古屋市中区3の丸1ノ6ノ1)
FAX 052(201)4331

問い合わせは 電話 052(221)0793

◇豊橋支局(豊橋市八町通3ノ91)
FAX 0532(54)4655

◇岡崎支局(岡崎市東明大寺町16ノ18)
FAX 0564(25)1554

◇豊田支局(豊田市美山町3ノ34ノ34)
FAX 0565(25)1118

◇一宮支局(一宮市大江1ノ13ノ13)

FAX 0586(72)5035

◇半田支局(半田市出口町1ノ45ノ18)

FAX 0569(23)2372

◇春日井支局(春日井市鳥居松町3ノ60)

FAX 0568(81)2797

読売新聞社

FAX 052(211)1085

取材に来てくれることもありますので、先ず一報を

広報資料委員会のメンバー



写真は、前列左から、大崎保(副委員長)、尾野博之(前委員長)、安部理事長、松本利幸(新委員長)、内田武夫、後列左から、竹内康恵(新事務局長) 笹井美幸、中村登志子、森島直子、北村豊(前事務局長)、中村隆信(円内)

稻垣 徳三先生(享年九十二歳)	太田 吉郎先生(享年八十五歳)	平成二十四年九月二十三日ご逝去
剣道教士七段	剣道教士七段	平成二十四年十一月十九日ご逝去
県連盟元理事	県連盟参与	剣道教士七段 県連盟参与
秋田 森治先生(享年九十一歳)	平成二十五年三月十九日ご逝去	秋田 森治先生(享年九十一歳)
居合道範士八段	居合道範士八段	居合道範士八段 県相談役

広報「観の眼」第三十七号
平成二十五年八月一日発行

一般財団法人 愛知県剣道連盟

FAX(052)481-1009
名古屋市中村区十王町十一番
二十二号

電話(052)481-1009
一〇〇九五

題字・故竹田弘太郎名誉会長